（様式２）

４　学校教育計画

項	目	目標・方針及び計画	
1	学習活動	目標	・生徒の学習意欲を高め、学習内容の理解を深めることにより、確かな学力を身につけさせる。 ・ビジネスに関する基礎的・基本的な知識や技術を習得させるとともに、生徒の多様な個性を伸長させる。 ・検定や資格取得の指導を充実させ、進路実現に役立てる。 ・教科指導をとおして、生徒自らが「学びたい」と思えるような魅力ある学校づくりを目指す。 ・模擬株式会社の運営や、量販店での現場実習ならびに企業・地域の商店におけるインターンシップなど、実践的体験学習の充実を図る。
	重点１① 重点１② 重点５ 重点６	計画	・教務部と各教科主任が連携し、取り組み内容についての共通理解を図る。 ・**各教科において互見授業を実施し、他教科の教員も参加する。** ・教科部会において、学習指導に関する研究を行う。 ・**生徒に「課題解決力」を身に付けさせるため、ルーブリック表を用いて目標達成度評価を継続的に行い学力の向上を目指す。** ・**生徒の学習に対する取り組み方や授業内容の理解度、満足度に関する状況調査をアンケート方式で行う。**分析結果は教務部でとりまとめる。結果内容については教科部会で検討し、今後の学習指導の改善に資する。 ・検定・資格の取得目標をしっかり持たせるとともに、補習授業を実施するなど指導の徹底を図る。 ・「専門技術者等特別講師招聘事業」により、地域で活躍する専門家を招聘し、「生き方」、「職業観」、「専門的知識」について学ぶ。 ・**体系的な販売体験学習として、学校デパート形式による「模擬株式会社「TOMI SHOP」に取り組む。** ・「現場実習」「インターンシップ」により、社会の変化に対応した就業体験学習を行う。
2	学校生活	目標	・商業教育活動の中で社会人になるためのあいさつ、礼儀等の基本的なマナーを身につけさせ、規律ある生活態度と調和のとれた人格を育成するために、全教職員で共通理解を図り、粘り強く指導する。 ・交通ルールを守り、自転車に正しく乗る等、交通安全意識の向上を図る。 ・学校保健の目的を達成するために、自己の発育や健康状態について正しく理解し、健康的な生活をしようとする能力や態度を身につけさせる。 ・生徒の健康・栄養指導の推進を図るとともに、食堂（２階）利用の正しい理解と態度を養う。また、富商会館（１階）の適切な維持運営を行う。・商業教育の中で社会人になるための挨拶、礼儀等の基本的なマナーを身につけさせる。
	重点３ 重点８①	計画	・挨拶の大切さと意義を十分理解して、儀礼的でない自然に出てくる挨拶を身につけさせる。 ・登校指導・頭髪服装指導を重点にして、きまりや基準のもつ本質的な意味を理解させ、校則遵守など規範意識の向上や基本的生活習慣の育成に努める。 ・交通安全講話、街頭指導などを通して、交通ルールやマナーなど社会的モラルや自律心・自己を向上させる力の育成に努める。 ・**自転車の施錠徹底による規範意識の向上を目指す。** ・富山商業高校いじめ防止基本方針に則り、いじめに対する生徒・教職員・保護者・地域の意識統一を図り、いじめの無い学校生活を目指す。 ・**定期健康診断、体力測定を適切に計画し実施して、その結果に基づく疾病異常者や予防接種の未接種者等への保健指導の徹底を図る。**

項	目	目標・方針及び計画	
2	学校生活 重点８②		・防犯教室・薬物乱用防止教室、スマホ・携帯安全利用教室、AED 等応急処置講習会を実施し、危険予知力や回避能力を高め、自己の安全を保持する態度の育成に努める。 ・組織的な教育相談の効果的活用を図るため、研修の機会を持ち、教育相談スキルの向上を図る。 ・生徒委員会活動の充実に努め、成果を高めるとともに、生徒の興味関心を高めるために保健だよりの内容を工夫する。
3	進路支援	目標	・生徒が学校生活を通じて自己理解を深め、進路探求を進めるなかで、一人一人の進路実現への援助を行う。 ・学校全体での組織的、計画的かつ効率的なキャリア教育を行う進路指導体制を確立する。
	重点４② 重点４①	計画	・自己理解を深め、自己受容を促すとともに、各自の適性に合った進路選択ができるように進路情報の提供を機会あるごとに行い、進路意識の向上を図る。 ・受験に必要な教科科目の学習、小論文指導の方針、面接の指導方法等について教職員間で共通理解を図り、教職員全体で協力し、より効果的、効率的な指導を行う。 ・就職採用試験についても、同様の受験指導を行う。 ・コミュニケーション能力の育成に努める。
4	特別活動	目標	・生徒会活動や部活動を通し、自律的・自主的な生活態度を養う。 ・豊かな人間性を身に付け、社会の一員として強く生きていくことのできる「人」を育てる。 ・読書への関心・意欲を高め、読書の習慣化を推進する。 ・図書館行事のさらなる充実を図り、学校における文化・教養の場としての役割を担う。
	重点２ 重点７① 重点７②	計画	・生徒会の役員を中心に、行事の運営委員会やリーダー研修会を開催し、生徒の企画力・指導力を養うとともに、円滑な行事運営を目指す。 ・部活動指導上の諸問題について検討し、競技力の向上や充実した部活動の運営を目指す。 ・図書館内外の展示に工夫を凝らし、図書館に入りたくなるような雰囲気づくりに努める。 ・授業での図書館利用が円滑に行われるように、図書資料を充実させる。また、教科との連携を密にする。 ・図書館主催行事の日程、内容を工夫し、生徒が興味関心をもって参加できるよう企画する。
5	そ の 他	目標	・ＰＴＡ活動を活性化することにより、家庭と学校の連携を今まで以上に強め、学校教育に対する共通理解をより深いものにする。
	重点９① 重点９②	計画	・ＰＴＡの定期総会・各事業の内容を、より魅力あるものに改善する。 ・ＰＴＡ役員会やＰＴＡ行事の日時設定を工夫し、保護者が参加しやすい環境を整えるとともに、学校の教育方針の理解度を深める。 ・保護者や生徒へのアンケート結果を踏まえてＰＴＡ会員全体に関わる行事の内容を企画立案し、満足度を高める。

（様式３）

５　今年度の重点課題（学校アクションプラン）

令和２年度　富山商業高等学校アクションプラン　―１―		
重点項目	学習活動	
重点課題	**教科指導の充実と確かな学力の向上**	
現　　状	・生徒の学習意欲や学習理解度に差が見受けられる。そのため、各教科において指導内容や指導方法の改善を図るとともに、生徒に意欲をもって授業に取り組ませ、確かな学力を身に付けさせることが必要である。	
達成目標	**①指導力の向上を意識した授業改善**	**②課題解決力を身に付けさせる**
	他の教員の授業を、**各学期３回以上**参観する。生徒の学習に対する取り組み方や授業内容の理解度、満足度に関する状況調査をアンケート方式で行う。授業内容の**理解度８０％以上**	目標達成度評価表により、**年５回以上**評価基準に照らし合わせ自分を振り返る。 自己評価シートで項目ごとにチェック。課題解決力６項目で、**Ｓ・Ａ評価が全体の５０％以上**
方　　策	・各学期に互見授業週間（年３回）を定め、各週間に他の授業を各３回以上参観する。・参観者は、互見授業シートを記入し、授業者及び自らの授業改善に資する。 ・各科目学習アンケートを取り、生徒の授業への取り組み具合を確認する。	・定期考査の最終日(年５回)に、「課題解決力」６項目(コミュニケーション能力、自主性、協調性、粘り強く挑戦する心、創造性、確かな学力)について、現在のレベルをチェックし、評価の具体的根拠を記入し、提出。

令和２年度　富山商業高等学校アクションプラン　―２―		
重点項目	特別活動	
重点課題	**部活動の活性化と競技力の向上**	
現　　状	・本校は運動部１７、文化部１１の計２８部が設置されており、全員部活動制である。 ・運動部・文化部ともに多くの部が、県大会優勝や全国大会入賞を目指して熱心に部活動に取り組んでいる。昨年度は全国大会出場者が２４４名（３０％）で目標を達成、北信越大会出場者が３２３名（３９％）で目標をほぼ達成できた。 ・部活動個人目標カードを用いて各個人の目標を立てさせた。年度末の目標達成度は、昨年度とほぼ同じ６６％で目標を達成できた。	
達成目標	**①部活動の個人目標達成度 （個人目標達成者数÷全校生徒数×１００）**	**②全国大会・北信越大会出場生徒の割合 （大会出場者の延べ人数÷全校生徒数×１００）**
	６０％以上	**全国１５％以上　　北信越４０％以上**
方　　策	・３年間使用の部活動個人目標カード作る。各年度で目標を立て、達成するための方策、結果目標が達成できたか。次年度に向けて「心身の健康・人間関係能力・責任感・創造性・チャレンジ精神・リーダーシップ・フォロワーシップ」を意識させながら反省等を記入させ、選手の意識を高める。 ・部活動の一層の活性化を図るため、各部におけるトレーニング講習会や技術講習会の充実を目指す。特に競技力向上に努める。 ・ストレス無く部活動を行うために、部活動の環境整備に努める。	

令和２年度　富山商業高等学校アクションプラン　―３―	
重点項目	学校生活
重点課題	**「自転車の施錠徹底」による規範意識の向上**
現　　状	・毎年のように本校や最寄り駅の駐輪場において、自転車の施錠忘れによる盗難事件が発生している。 ・昨年の施錠徹底運動の取り組みにより、自転車通学者の約５%の生徒が、普段から自転車を施錠する習慣がないことが判明し指導した。 ・自己責任に欠け、何事も自分本位に解釈し、公共物を粗末に扱い、公共のルールを逸脱している生徒が存在する。
達成目標	**「自転車の施錠徹底」による規範意識の醸成**
	生徒の自転車施錠率　１００％
方　　策	・４月より施錠忘れ生徒に注意喚起チラシを配布する。 ・春、秋の自転車定期点検で故障箇所を修繕し、施錠する意識を高める。 ・５月に交通安全教室を開催し、自転車のマナーとともに防犯意識を高める。 ・「かぎかけ防犯コンテスト」に応募し、全校で防犯意識の向上に取り組む。 ・規範意識を高めることで、公共物を大切に扱い、思いやりの精神を育む。

令和２年度　富山商業高等学校アクションプラン　―４―		
重点項目	進路支援	
重点課題	**・社会情勢や職業についての幅広い理解とともに職業観・勤労観を育み、一方で自己理解を深めさせ、生徒一人一人が能力や適性に応じた進路選択ができるよう支援する。 ・自分の考えや思いを的確に表現できる文章記述力を系統立てて指導する。 ・個に応じた組織的・計画的な取り組みを通して、より効果的な進路支援を行う。**	
現　　状	・職業観・勤労観に関する意識が希薄な生徒に関して、進路希望の確立が遅れがちである。 ・自己理解ができていない生徒には、適性や能力に見合わない進路選択をする場合がある。 ・昨今、大学等の募集人員や受験倍率の変化、求人数が増加して就職希望先の選択の幅が広くなっているなどの一方で、自己理解が深まっていない場合に、安易な進路選択が中途退学や早期離職などにつながる可能性がある。	
達成目標	**①　小論文模試の評価**	**②　生徒の進路満足度（卒業時）**
	「説得力」「構成力」等の評価向上	**９５％以上**
方　　策	・小論文を書くことで社会的関心を喚起し、マニュアル化した考え方から離れ、将来への目的意識を明確にさせる方策を実施する。 ・国語科と協力して国語の授業を活用し、小論文記述力を学年進行で向上させる方策を実施する。 ・1，２年は年間３回、３年は年１回の小論文模試を実施し、外部講師によるガイダンスを受講させる。 ・小論文模試では、「説得力」「構成力」等の評価の向上を目指す。	・早めに自己の将来を主体的に考えさせ、能力･適性にあった進路選択を行うよう指導する。 ・生徒の進路志望状況をできるだけ具体的に把握するとともに、家庭との連携を図るため､進路選択に必要な適切な情報を提供できるよう資料の充実を図る。 ・進路実現を目指す生徒に対して、全教員による面接指導や個別学力補充の場を提供する。 ・３年時に進路希望について大きな変更がある生徒については､十分な話し合いをするとともに､保護者との連絡を緊密に行い後悔のない進路選択を行わせる。

令和２年度　富山商業高等学校アクションプラン　―５―	
重点項目	学習活動
重点課題	**生徒の授業満足度**
現　　状	これまでは商業科として検定合格率を重点課題としてきた。しかし、商業教育は実学であり、生涯にわたって学び続けるものであることから、高校での検定合格だけにとどまらず、商業高校３年間で生徒が何を学んだのか、それを将来生かしていくことができるのかが大切であり、また学び活用し続ける姿勢を身に付けることが重要である。これにより、本年度は初めて生徒の授業満足度に重点を置き、商業教育を再検討、再構築していきたい。
達成目標	**生徒の授業満足度　８０％以上**
	１学年：情報処理、２学年：マーケティング、財務会計Ⅰ、プログラミング ３学年：総合実践
方　　策	・授業を充実させることにより、生徒の学習意欲を喚起する。 ・基礎・基本の着実な定着を図るとともに、生徒の能力を最大限に伸ばすための学習指導体制を充実する。 ・生徒が苦手とする箇所を重点的に解説する。 ・教員間による授業の指導及び研究を行い、教員の指導力向上を図る。 ・１月に行われる検定については、補習授業を行い、学力の向上を目指す。

令和２年度　富山商業高等学校アクションプラン　―６―		
重点項目	学習活動	
重点課題	**「模擬株式会社　TOMI SHOP 」を通した体験学習の充実**	
現　　状	仕入先研修体験学習や「模擬株式会社　TOMI SHOP」の運営を起業家教育や進路学習に役立てている。	
達成目標	**①社会人基礎力「3 つの能力／12 の能力要素」**	**②「模擬株式会社　TOMI SHOP」の満足度（お客様・生徒）**
	自己の 3 段階評価 Ａ４０％以上　Ｂ７０％以上	**お客様　満足以上の割合９５％以上 生徒　満足以上の割合９０％以上**
方　　策	(1)模擬株式会社「TOMI SHOP」（起業家の育成） ・模擬株式会社を設立し、会社組織で店舗経営や販売活動を行う。 ・「株主総会」において営業報告、決算報告、利益処分を行う。 (2)「TOMI SHOP 特別授業」の充実 「TOMI SHOP 特別授業」を実施し、「TOMI SHOP」に向けて必要な知識と心構えを生徒に理解させる。複数回の授業を実施し、生徒の変化を把握して取り組みに生かす。 (3)社会人基礎力自己評価「プログレスシート」 「TOMI SHOP」の活動を通して「プログレスシート」を記入させ、社会人基礎力の意識付け、記録および振り返りを実施し、成長の確認を行う。 (4)キャリアガイダンスの実施 地元経済団体との連携により、勤労観、職業観を育成し、問題解決能力を育て、地域社会に貢献できる職業人の育成を目指すとともに、キャリア教育の充実を図る。	

令和２年度　富山商業高等学校アクションプラン　―７―		
重点項目	特別活動	
重点課題	**読書の楽しさに出会い、本や雑誌を活用して探究する姿勢を学ぶ。**	
現　　状	・授業での来館や雑誌の利用を中心に来館者が増えている。それを維持すると共に、読書の動機付けとなる工夫をすることが必要である。 ・昨年度の生徒１人当たりの貸出図書冊数は年度末において２.５５冊に伸びた。さらに、年間１冊も本を借りていない生徒は０％になった。今後は「探究的学習」「人生を豊かにする読書」を推進する図書館をめざしていきたい。	
達成目標	①　１冊以上借りた生徒の割合	②　図書館企画展示数
	９８％（4月～1月）	５回以上
方　　策	・入学後の早い時期に図書館利用オリエンテーションを実施し、生徒図書委員会を立ち上げる。 ・生徒の貸し出しを促すため、授業等で図書館施設利用の機会を多く設け、図書館に親しんでもらうことで、本の貸し出しにつなげるように働きかける。 ・より多くの生徒に図書館利用を促すような企画展示を、館内や廊下において積極的に行う。 ・図書や雑誌の購入にあたり、生徒や教員の希望をより多く取り入れ、利用を促進する。 ・授業で図書館を利用された先生方に協力を得て、調べ学習用の蔵書の充実に努め、図書館の有用性を高める。 ・国語科、地歴公民科をはじめ各教科と連携し、読書感想文や小論文、レポート作成の際の図書館の活用方法や新聞の活用の仕方について理解を促し、図書館をＰＲし、さらなる利用を図る。	

令和２年度　富山商業高等学校アクションプラン　―８―		
重点項目	学校生活	
重点課題	**・健康診断の結果に基づく、疾病異常者の医療機関等での再検査や治療等の保健指導の徹底を図る。** **・教職員間で生徒理解を十分に図り、不登校、学校不適応、人間関係等の心理的な原因による体調不良等への対応や、相談、カウンセリング、専門医への繋ぎなど充実を図る。**	
現　　状	・齲歯等治療率は約３割程度で、自己の健康管理に対して、意識がまだまだ低い。 ・様々な心理的な問題を抱え、不登校や保健室登校となる生徒がおり、教職員の生徒理解のための教育相談スキルの向上が欠かせない現状である。	
達成目標	①　医療機関への受診率	②　半期ごとに研修会の実施
	８０％	年２回
方　　策	・健康診断の結果を本人及び保護者へ伝え、医療機関での再検査や治療等を確実に行ってもらえるように、担任学年等と協力して実施する。 ・研修会を通じて、生徒理解のスキルアップをめざす。また、不登校、学校不適応、心理的な原因による体調不良等の生徒対応を円滑に行うため、担任や顧問、学年主任、保健厚生部、保護者が連携して問題解決に取り組み、ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰや医師などの専門家の効果的な活用を図りながら、確実な問題の解決にあたる。	

<table>
<tr><td colspan="3">令和２年度　富山商業高等学校アクションプラン　―９―</td></tr>
<tr><td>重点項目</td><td colspan="2">その他</td></tr>
<tr><td>重点課題</td><td colspan="2">ＰＴＡ活動への関心を高め、自主的・積極的な参加を推進する</td></tr>
<tr><td>現　　状</td><td colspan="2">・ＰＴＡ総会への出席率は、３学年の進路説明会を同時開催することで５０％を超える水準となっている。今後もより多くの会員に出席してもらうことで学校教育に対する理解を深める機会にしたい。
・本校独自のＰＴＡ事業として行っているＰＴＡ視察研修や食堂利用体験の満足度は 90％を超える水準で、参加者も増加している。また、３年前よりＰＴＡによる生徒への職業紹介講座を実施している。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">達成目標</td><td>① ＰＴＡ定期総会時の説明による学校の教育方針に対する理解度</td><td>② ＰＴＡ視察研修事業・ＰＴＡによる職業紹介講座の満足度</td></tr>
<tr><td>９０％以上</td><td>９０％以上</td></tr>
<tr><td>方　策</td><td colspan="2">・ＰＴＡ定期総会の土曜日実施と１・２年生の授業参観・３年生の進路説明会・学年別懇談会の同日実施を継続し、保護者の日程的な負担を軽減することで、保護者が参加しやすくなる環境を整える。
・ＰＴＡ定期総会時の学校長・進路指導部長・生徒指導部長による学校全体の概況説明、学年別懇談会での指導方針を説明してもらうことで、本校の教育方針に対する理解度をより深める機会とする。
・ＰＴＡ視察研修先の事前アンケートと実施後の事後アンケートを継続実施し、その内容を踏まえて、より魅力ある研修会となるよう計画を立案する。また、２年生対象に行うＰＴＡによる職業紹介講座については、生徒の希望に沿う職業人を招聘し、なるべくミスマッチの無い講座選択を実現する。
・ＰＴＡ事業について多くの会員の参加を得られるように、行事内容を配布物とメール配信両方で行う。
・機会ある毎に情報メール受信の登録を促し、多くの保護者に情報配信できる体制を整える。</td></tr>
</table>